

コースコード : CI-DCCNX

税抜価格 : 360,000円

日数 : 3日間

前提条件

このコースを受講する前に受講者が習得しておく必要のある知識およびスキルは次のとおりです。

- ・ネットワークプロトコル、ルーティング、スイッチングについての知識
- ・Ciscoデータセンターアーキテクチャに関する知識

下記のコースを受講済み、または同等の知識を有する方

[CCNA \(Implementing and Administering Cisco Solutions\)](#)

[DCFNDU \(Understanding Cisco Data Center Foundations\)](#)

[DCINX \(Introducing Cisco NX-OS Switches and Fabrics in the Data Center\)](#)

受講対象者

- ・データセンターネットワークの設計者
- ・データセンターネットワークの管理者
- ・データセンターネットワークの業務に携わるエンジニア

コース概要

このコースはCisco Nexusスイッチを使用してデータセンターネットワークを設計、実装、管理するネットワーク技術者のために作られています。このコースでは、Cisco Nexusスイッチのルーティング、Cisco OTV、VXLAN、ファイバーチャネル、FCoEなどの主要な機能について、講義とラボ演習を通じて学習します。

また、Cisco NX-

APIを使用した自動化やプログラミングの方法についても学習します。

目的

このコースを修了すると次のことができるようになります。

- ・Cisco Nexusスイッチのルーティングとフォワーディングについて説明する
- ・OTVを設定する
- ・VXLANを設定する
- ・LISPについて説明する



- ・ Cisco Nexusスイッチの主要な機能を説明する
- ・ Cisco ITDについて説明する
- ・ Cisco NexusスイッチのQoSについて説明する
- ・ Cisco Nexusスイッチのストレージサービスについて説明する
- ・ デバイスエイリアスとゾーニングを設定する
- ・ FCoEを設定する
- ・ NPIVおよびNPVモードを設定する
- ・ NX-APIおよびオーケストレーションソリューションについて説明する
- ・ Pythonを使用したCisco NX-OSのプログラムを作成する
- ・ システム管理、監視のプロセスを説明する
- ・ トラブルシューティングのプロセスを説明する

アウトライン

- ・ Cisco NX-OSのルーティングとフォワーディングの説明
- ラボ 1: OSPFの設定
- ・ Cisco OTVの説明
- ラボ 2: Cisco OTVの設定
- ・ VXLANの説明
- ラボ 3: VXLANの設定
- ・ LISPの説明
 - ・ Cisco Nexusスイッチのセキュリティ機能の説明
- ラボ 4: Cisco Nexusスイッチのセキュリティ機能の設定
- ・ Cisco ITDの説明
 - ・ Cisco NexusスイッチのQoSの説明
 - ・ Cisco Nexusスイッチのストレージサービスの説明
- ラボ 5: 基本的なファイバーチャネルの設定
- ・ デバイスエイリアスとゾーニングの説明
- ラボ 6: デバイスエイリアスとゾーニングの設定
- ・ FCoEの説明
- ラボ 7: FCoEの設定
- ・ NPIVおよびNPVモードの説明
- ラボ 8: NPVの設定
- ・ Cisco Nexusスイッチの自動化とプログラマビリティの管理
- ラボ 9: Cisco NX-APIを使用したスイッチの管理
- ラボ 10: Pythonを使用したスイッチのプログラミング



- ・システム管理と監視の説明

ラボ 11: システム管理と監視の設定

- ・Cisco Nexusスイッチのトラブルシューティング

ラボ 12: Cisco

NexusスイッチのCPUとメモリの問題のトラブルシューティング